

〈資料〉 段階別教育内容表

段階	分野目標	自立化	社会化	表現化	職業化
I 段階	<p>○ 日常生活を通して身辺のことがらに関心をもち、自立への芽を育てようとする。</p> <p>○ いろいろな活動を通して表現力の芽を育てようとする。</p>	<p>基礎的な生活習慣を身につけるとともに、健康で安全な生活に必要な技能・態度を養う。</p> <p>介助を受ける生活の中で基礎的な生活習慣に関心をむけさせる。</p>	<p>身近な集団生活に参加する態度を育てるとともに、社会生活に必要な知識・技能を養う。</p> <p>教師の介助や道具を手立てにして、集団の構成につとめ集団生活への芽を育てる。</p>	<p>身近な経験・活動を通して豊かな表現能力を養う。</p> <p>介助を受ける生活の中で、心身の調和的発達を図り、表現活動の芽を育てる。</p>	<p>家庭生活や将来の職業生活に必要な基礎的な知識・技能を身につけるとともに、勤労を重んじる態度を養う。</p>
II 段階	<p>○ 身辺のことがらを処理しようとする自立心を育て、基礎的な生活習慣を身につけるようにする。</p> <p>○ 友だちと遊ぶ楽しさを体験させ、遊びを通して表現力の芽を身につけるようにする。</p> <p>○ 身近な経験からいろいろな事に興味・関心を持たせるようにする。</p>	<p>援助を受けながら、模倣を通して基礎的な方法を身につけるようにする。</p>	<p>遊びや手伝いなどを通して、集団生活への基礎的な態度を養うとともに、仕事への関心をもたせる。</p>	<p>遊びを通して表現活動になれ親しませ表現活動の素地を養う。</p>	
III 段階	<p>○ すずんで身辺処理できるようにし、できるだけまわりを守って家庭や学校での集団生活に参加できるようにする。</p> <p>○ 具体的経験を通して表現力の充実をはかり、日常生活の中で生かせるようにする。</p> <p>○ 具体的活動を通して生活経験の拡大をはかりながら自然や社会事象にも関心を持たせるようにする。</p>	<p>基礎的な方法の定着をはかり進んでやりととする態度を養う。</p>	<p>集団に対する意識化をはかり、集団生活に必要な基礎的な能力を養うとともに、仕事への関心をより高める。</p>	<p>興味ある活動を通して表現活動の基礎的な知識・技能・態度を養う。</p>	
IV 段階	<p>○ すずんで集団活動に参加し、他人に迷惑をかけないで自分の生活を処理する。</p> <p>○ 身近な生活を通して表現力を更に伸ばし、生活上の簡単な問題を解決する。</p> <p>○ 自立心の芽生えを育て、すずんで課題にとりくんだり、最後までやりぬく態度を養う。</p>	<p>日常生活の中で定着した技能を生かし、構築にしようとする態度を身につける。</p>	<p>個人生活と集団生活の両方に目をむけさせ、学校生活を中心に人間関係や社会生活に対する関心を高める。</p>	<p>日常生活を通して表現能力を高め、積極的に表現活動を行う態度を養う。</p>	<p>日常生活を通して家庭生活や将来の職業生活に必要な基礎的な能力や仕事をしようとする態度を養う。</p>
V 段階	<p>○ 身近な社会のしくみや働きについての関心を広げ、社会生活に参加するために必要な表現力を高め、すずんでとりくむ意欲をもつようになる。</p> <p>○ 家庭の一員としても職業人としても自立できるような基礎的な技能を習得し、働く態度を身につける。</p>	<p>必要性を理解し、進んで実践していく態度を養う。</p>	<p>地域社会における人間関係や社会生活の理解につとめるとともに、必要な技能・態度を養う。</p>	<p>基礎的な表現能力を生活に生かす態度を養う。</p>	<p>作業や学習を通して家庭生活や職業生活に適用するための基礎的な知識・技能を習得し、働く態度を身につける。</p>
VI 段階	<p>○ 地域社会のしくみや働きについての理解を深め、積極的に参加しようとする意欲をもち、社会の一員としての自覚をもつようになる。</p> <p>○ 家庭の一員や職業人として必要な表現力を養い、日常生活に生かして、うるおいのある生活を通じて育てようとする。</p>	<p>V 段階の目標をさらに深め、個人生活の充実をはかる。</p>	<p>人間関係や社会生活に対する理解をさらに深め、より豊かな技能・態度を身につける。</p>	<p>V 段階の目標をさらに深める。</p>	<p>V 段階で得た基礎的な知識・技能をいっそう高め、喜びをもって働く態度を養う。</p>